

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成24年8月2日 (2012.8.2)

【公表番号】特表2012-503973(P2012-503973A)
 【公表日】平成24年2月16日 (2012.2.16)
 【年通号数】公開・登録公報2012-007
 【出願番号】特願2011-513790(P2011-513790)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 19/40 (2006.01)

C 1 2 P 19/32 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 19/40

C 1 2 P 19/32

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月11日 (2012.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プリンヌクレオシド生産能を有し、3 - ヘキスロース - 6 - リン酸合成酵素 (HPS) 活性が減少するよう改変されたパチルス属細菌を培養培地中で培養し、プリンヌクレオシドを培養培地中に排出させ、プリンヌクレオシドを培養培地から回収することを含む、プリンヌクレオシドの製造方法。

【請求項 2】

前記パチルス属細菌は、3 - ヘキスロース - 6 - リン酸合成酵素 (HPS) をコードする遺伝子の発現が低減するよう改変されたパチルス属細菌である、請求項 1 記載のプリンヌクレオシドの製造方法。

【請求項 3】

前記発現は、前記遺伝子を不活性化させることによって低減された、請求項 2 記載のプリンヌクレオシドの製造方法。

【請求項 4】

前記遺伝子が hxlA 遺伝子である、請求項 2 または 3 記載のプリンヌクレオシドの製造方法。

【請求項 5】

前記 hxlA 遺伝子は、配列番号 2 もしくは 4 のアミノ酸配列、または配列番号 2 もしくは 4 のアミノ酸配列において 1 ~ 5 個のアミノ酸の欠失、挿入、付加もしくは置換を含むアミノ酸配列を含む、請求項 4 記載のプリンヌクレオシドの製造方法。

【請求項 6】

前記パチルス属細菌は、パチルス・ズブチリスである請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のプリンヌクレオシドの製造方法。

【請求項 7】

前記パチルス属細菌は、パチルス・アミロリケファシエンスである請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のプリンヌクレオシドの製造方法。

【請求項 8】

前記プリンヌクレオシドが、イノシン、キサントシン、グアノシン、及びアデノシンからなる群から選択される請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のプリンヌクレオシドの製造方法。

【請求項 9】

プリンヌクレオシド生産能を有し、3 - ヘキサロース - 6 - リン酸合成酵素 (HPS) 活性が減少するよう改変されたバチルス属細菌を培養培地中で培養し、プリンヌクレオシドを培養培地中に排出させ、プリンヌクレオシドをリン酸化し、プリンヌクレオチドを単離することを含む、プリンヌクレオチドの製造方法。

【請求項 10】

プリンヌクレオチドが、5'-イノシン酸、キサントシン-5'-リン酸、5'-グアニル酸、及び5'-アデニル酸からなる群から選択される請求項 9 記載のプリンヌクレオチドの製造方法。